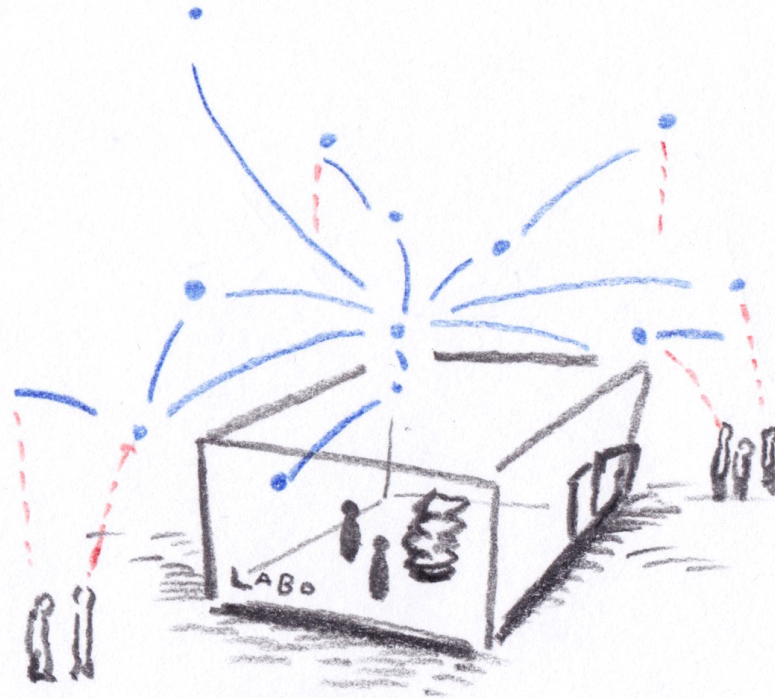


部屋しかないところからラボを建てる
知らない誰かの話を聞きに行く、チームで思考する



部屋しかないところからラボを建てる

知らないだれかの話を聞きに行く、チームで思考する

- ・今みんなが気になることをマッピングする
- ・そのことについて知っていそうな人に話を聞きに行く
- ・聞いてきた話を共有する



ばらばらに聞いてきたことがつながったり、
交差したりして、
なにかが見えてくるかも？



企画や作品が生まれたらいいなと思います

聞くこと

ネットや資料で何かが分かった気になってしまう時代だからこそ、
まず、聞きに行ってみる！

聞くことと共有すること

を

丁寧にすすめていく

(そのための手法をつくっていく)

チームで思考する

さまざまな問題系はつながっている予感
ひとりですみずみまで調べるのはむずかしいし、
その全体像はつかみきれない
だからチームで思考する

部屋しかないところからラボを建てる
知らないだれかの話を聞きに行く、チームで思考する

ラボの日（月に1～2回）

...聞く、共有するための方法をみんなで学ぶ、議論する、開発する

オープンラボ（月に1回）

...個別に必要な技術について学ぶ、関心の近い人どうしで話す、
もやもやを共有する、資料をラボに落とし込む

ラボ通信（月に1回発行）

...それぞれが調べていることについてエッセイを書く
ラボメンバー向けの新聞

部屋しかないところからラボを建てる

知らないだれかの話を聞きに行く、チームで思考する

9月23日（日） 13:00～18:00 自己紹介、関心事を話す

9月24日（月） 13:00～18:00 関心事を話す、先行事例：小森瀬尾

10月14日（日） 10:00～16:00 @東京大空襲・戦災資料センター
早乙女さん、山本さん

11月11日（日） 13:00～17:00 語り直しワーク

12月9日（日） 13:00～17:00 妄想ワーク、PortB田中沙季さん

1月13日（日） 13:00～17:00 聞いてきたことを共有する

2月17日（日） 13:00～17:00 聞いてきたことを共有する、話を聞かれる

部屋しかないところからラボを建てる 知らないだれかの話を聞きにいく、チームで思考する

ナビゲーター：

一般社団法人NOOK 瀬尾夏美、小森はるか、磯崎未菜

ファシリテーター：小屋竜平

記録、編集：高橋創一

プロジェクトマネージャー：佐藤李青

部屋しかないところからラボを建てる

知らないだれかの話を聞きにいく、チームで思考する



Aさん アパレル会社勤務／ライター



Fさん 児童館厚生員



Bさん 臨床心理士／作家



Gさん お笑い芸人／演出家



Cさん 広告代理店勤務



Hさん エンジニア



Dさん 会社員／俳優／ラッパー／部長



Iさん 介護職員



Eさん 不動産コンサルタント



Jさん 団体職員

部屋しかないところからラボを建てる
知らないだれかの話を聞きにいく、チームで思考する

できなかったこと

聞くこと

(会いに行くこと)

部屋しかないところからラボを建てる
知らないだれかの話を聞きに行く、チームで思考する

できたこと

長いおしゃべり

部屋しかないところからラボを建てる
知らないだれかの話を聞きに行く、チームで思考する

できたもの

- ◇ 答えのないおしゃべりを許容し、
価値を見出しあえるコミュニティ
- ◇ 目的然としない会話とそのための時間
- ◇ 都市空間にできた余白のような場所

部屋しかないところからラボを建てる

知らないだれかの話を聞きに行く、チームで思考する

さて、東京／都市的ってなんだろう？

そして、これからも“東京”にあったらよいと思う

「東京かたつむり」の形は？

聞けなさ

おしゃべりコミュニティが欲しい、必要

日常にないもの、サードプレイス、救われる感覚

コミュニティの維持の難しさ（仕組みが必要、忙しい、経済面？）

目的を同じくすることのよさ、困難さ